

保育所における感染症の登園基準一覧表

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症から1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後、3日を経過してから
インフルエンザ	発症24時間前から後3日間で最も多く、通常7日以内に減る	発熱後5日間及び解熱後3日を経過してから
風しん	発疹出現の数日前から後5日間位	発疹が消失してから
水ぼうそう	発疹2日前からかさぶた形成まで	すべての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発疹2日前から耳下腺腫れ後5日	耳下腺の腫れが消失してから
咽頭結膜炎 (プール熱・アデノウイルス)	発熱・充血など症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血・眼脂など症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること (抗菌薬を決められた期間服用する。決められた期間服薬後は、医師の指示に従う)
腸管出血性大腸菌症 (O-157 など)		症状が治まりかつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
溶連菌感染症	適切な治療を開始し1～2日間	抗菌薬内服後24時間経過し、全身状態が良好
マイコプラズマ肺炎	適切な治療を開始し数日間	発熱や激しい咳がなく、全身状態が良好
手足口病	急性期の数日間	発熱・重症の口内炎がなく、普段の食事ができ、また、全身状態が良好
感染症胃腸炎 (嘔吐下痢症・ノロ・ロタ)	症状が消失してから1～2日間	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事ができ、また、全身状態が良好
ヘルパンギーナ	急性期の数日間	発熱・重症の口内炎がなく、普段の食事ができ、また、全身状態が良好
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	重篤な呼吸器症状が消失し、全身状態が良好

※ 上記の病気の際は、園への登園は、感染の恐れがなくなった事を医師に証明してもらってから登園させて下さい。